

■一般目標 (GIO)

矯正歯科技工を理解するために、正常咬合、不正咬合および矯正歯科治療の進め方を学ぶ。また、治療に用いる装置の目的、構成、使用材料および製作方法を修得する。

■到達目標 (SBOs)

- ・矯正歯科の概念を説明できる。
- ・矯正装置の必要条件を説明できる。
- ・矯正装置の分類を列挙できる。
- ・保定装置の意義を説明できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：木曜日 18:00～18:45

■オフィスアワー：内田 靖紀 木曜日・17:00～17:50

■成績評価：定期試験（80%）と平常試験（20%）で評価する。第9, 11, 15回時平常試験は解説を行いフィードバックする。

■注意事項：講義時に教科書と配付プリントを持参すること。

■授業方法：教科書に沿った内容のスライドとプリントを使用して講義を行う。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：内田靖紀：現在、歯学部歯科矯正学講座に在籍しており、矯正医としての臨床経験を交え講義することで理解を深めることが出来ると考える。

■関連教科：矯正歯科技工学（3年）

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 10月1日 内田 靖紀	1. 矯正歯科とは 2. 矯正歯科治療と技工学 3. 矯正歯科技工学の目的と意義 (教)pp. 1-3	・矯正歯科の概念を説明できる。 ・矯正治療の特性と技工の必要性を認識できる。 ・咬合異常を改善し、正常咬合を確立、歯、口腔、顎、顔面頭蓋などの正しい発達を導くことを説明できる。 ・矯正技工によって製作された装置の役割と機能について解釈できる。
第2回 10月8日 内田 靖紀	4. 正常咬合と不正咬合 5. 不正咬合の分類 (教)pp. 4-13	・正常咬合の条件と種類を列挙できる。 ・不正咬合の分類が説明できる。
第3回 10月15日 今井 秀行	6. 矯正歯科技工の手技 (教)pp. 29-36	・線屈曲の一般的原則が列挙できる。 ・自在ろう付けの一般的原則が列挙できる。
第4回 10月22日 今井 秀行	6. 矯正歯科技工の手技 7. 矯正用口腔模型の製作 (教)pp. 37-45	・矯正用レジンの形成方法が列挙できる。 ・矯正用口腔模型の種類と特徴を列挙できる。
第5回 11月5日 内田 靖紀	8. 矯正治療の進め方 9. 矯正歯科技工用器具と器械、材料 (教)pp. 14-28	・矯正歯科治療における症例分析法を説明できる。 ・矯正歯科技工で用いる器械、器具名と材料の種類と用途が説明できる。
第6回 11月12日 内田 靖紀	10. 矯正装置の必要条件と分類 (教)pp. 46-48	・矯正装置の必要条件を説明できる。 ・矯正装置の分類を列挙できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第7回 11月19日 今井 秀行	11. 矯正装置の製作法（動的矯正装置） 1) 舌側弧線装置 2) 顎間固定装置 (教) pp. 49-55	・舌側弧線装置の目的，構成および製作法を説明できる。
第8回 11月26日 今井 秀行	12. 矯正装置の製作法（静的矯正装置） 1) 保定装置とは 2) ホーレーの保定装置 (教) pp. 76-81	・保定装置の意義を説明できる。 ・ホーレーの保定装置の目的と構成および製作方法が説明できる。
第9回 12月3日 内田 靖紀	13. 第1, 2, 5, 6回のまとめ 「平常試験」と解説 (教) pp. 1-28, 46-48	・第1, 2, 5, 6回の講義を総覧し，理解度を深めることができる。
第10回 12月10日 内田 靖紀	14. 矯正装置の製作法（動的矯正装置） 3) アクチバトール(F. K. O) 4) バイオネーター 5) 咬合拳上板 6) 咬合斜面板 (教) pp. 56-62	・アクチバトールの目的と構成を説明できる。 ・バイオネーターの目的と構成を列挙できる。 ・咬合拳上板と咬合斜面板の目的と構成が列挙できる。
第11回 12月17日 今井 秀行	15. 第3, 4, 7, 8回のまとめ 「平常試験」と解説 (教) pp. 29-45, 49-55, 76-81	・第3, 4, 7, 8回の講義の理解度を深める。
第12回 12月24日 内田 靖紀	16. 矯正装置の製作法（動的矯正装置） 7) 可撤式拡大装置 8) 固定式拡大装置 9) ヘッドギア 10) オトガイ帽装置 11) 上顎前方牽引装置 12) ナンスのホールディングアーチ 13) パラタルアーチ (教) pp. 62-71	・可撤式拡大装置と固定式拡大装置の目的と構成が列挙できる。 ・ヘッドギアとオトガイ帽装置の目的と構成が列挙できる。 ・上顎前方牽引装置の目的と構成が列挙できる。
第13回 1月14日 内田 靖紀	17. 矯正装置の製作法（動的矯正装置） 14) リップバンパー 15) タングクリブ 16) マルチブラケット装置 17) フレンケルの装置 (教) pp. 71-75	・リップバンパーの目的と構成が列挙できる。 ・マルチブラケット装置の目的と構成が列挙できる。 ・フレンケルの装置の目的と構成が列挙できる。
第14回 1月28日 内田 靖紀	17. 矯正装置の製作法（動的矯正装置） 18) スライディングプレート 19) アライナー 18. 矯正装置の製作法（静的矯正装置） 3) ラップアラウンドリテーナー	・ホーレーの保定装置の目的と構成および製作方法が説明できる。 ・ラップアラウンドリテーナー，トゥースポジショナー，スプリングリテーナーおよび下顎犬歯間リテーナーの目的と構成が説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
	4) トゥースポジションナー 6) スプリングリテーナー 7) 下顎犬歯間リテーナー 8) フレキシブルスパイラルワイヤーリテーナー (教) pp. 81-88	
第15回 2月4日 内田 靖紀	19. 第10, 12, 13, 14回のまとめ 「平常試験」と解説 (教) pp. 55-75, 81-88	・第10, 12, 13, 14回の講義内容を再確認し、理解度を深める。